

# 福島第二原子力発電所からのお知らせ **TEPCO**

FUKUSHIMA DAINI NUCLEAR POWER STATION NEWSLETTER

Vol.74

1～4号機は燃料の安定冷却を継続しています。発電所の最新状況やさまざまな取り組みをお知らせします。

2020年12月1日 発行

## ■ 本号の内容

- 発電所の業務をご紹介します
- 燃料の保管と冷却状況
- 発電所データBOX
- みなさまのご質問におこたえします
- 木戸川のやな場が再建されました
- 発電所構内の空間線量
- みなさまの声をお聞かせください



仏浜海岸からの太平洋展望（富岡町）撮影日：2020年10月29日

# 発電所の業務をご紹介します

今回は  
保全部 電気機器第二グループです

使用済燃料プールで保管している燃料の安定冷却に必要な電気は、発電所外部から受電しています。

今回は、電気を受電する電源設備や緊急時に使用する高圧電源車・ガスタービン発電機車の点検および操作方法の訓練を行っている電気機器第二グループの佐藤さんに話を聞きました。



送電線から受電した電気を発電所内に送る中継点（開閉所）のパトロール



送電線から受電した電気の電圧を変える設備（起動用開閉所変圧器）のパトロール



高圧電源車による電源接続訓練



ガスタービン発電機車点検時の起動操作確認

## 地域のみなさまにご安心いただけるよう、引き続き技術力向上に努めてまいります

### －業務について教えてください

私は、発電所外部から電気を受電する電源設備や緊急時に使用する高圧電源車・ガスタービン発電機車の保守業務を担当しています。

発電所外部から電気を受電する電源設備は、廃止措置や発電所の安全維持に必要な設備です。

また、高圧電源車・ガスタービン発電機車は、緊急時に必要な電源を確保するものであり、これらを定期的に点検するとともに操作方法の訓練を行うことで、万一の際に早急な電源の確保に必要な技術力の向上と発電所の安全に万全を期しています。

### －業務を行う上で心がけていることは

電気設備を取り扱う者として、点検をお願いしている協力会社や社内関係者とのコミュニケーションを大切にしています。

訓練や作業の際は各メンバーが機器や手順を理解して実施するよう常に周囲に気を配りながら安全第一を心がけています。

地域のみなさまにご安心いただけるよう、引き続き自分自身の技術力向上に努めるとともに、必要な安全対策を確実に実施し、日々の業務に取り組んでまいります。



保全部 電気機器第二グループ

佐藤 達郎（浪江町出身）

趣味：釣り、読書

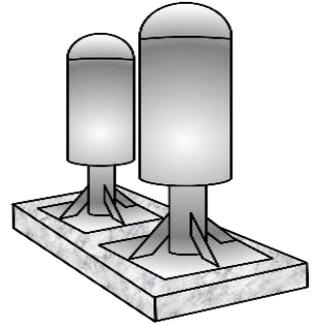
# みなさまのご質問におこたえします

## Q. 震災前の発電所周辺の放射線量はどの位だったのですか？

A. 震災前の福島第二原子力発電所周辺のモニタリングポストの値は、0.04～0.05マイクロシーベルト毎時程度でした。

福島第一原子力事故直後は、フォールアウト（放射性物質の降下物）の影響により当所で最大183マイクロシーベルト毎時を計測していましたが、現在は、0.09～0.27マイクロシーベルト毎時程度\*です。なお、日本各地の放射線量（空間線量）は、原子力規制委員会のホームページでも確認できます。

\* 2020年11月23日のデータ



## Q. 震災前から放射線はあったということですか？

A. はい、そのとおりです。

私たちは、生活の中でいろいろな放射線を受けており、大地、宇宙など自然界からの放射線や医療目的で受ける放射線があります。また、私たちは食物に含まれる放射性物質からも放射線を受けており、色々な食物に含まれる放射性物質のカリウム40や炭素14などもすべて自然に存在するもので、年間約0.2ミリシーベルトの放射線を受けています。



## 発電所構内の空間線量

(単位はマイクロシーベルト毎時)

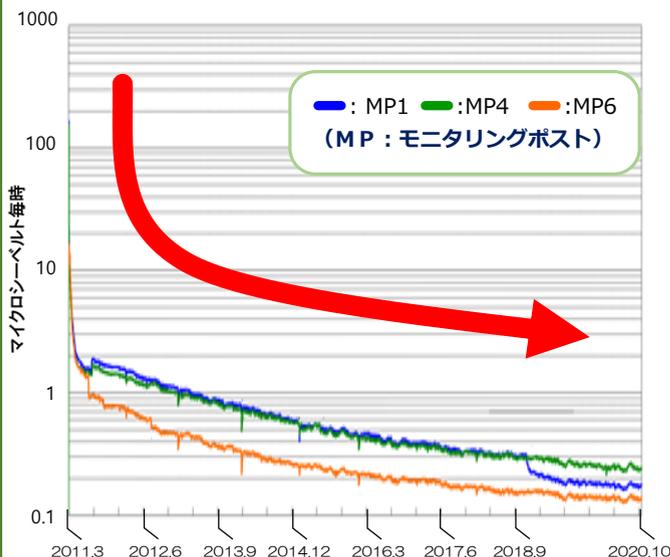
### 発電所構内のモニタリングポスト計測値 (MP1～7)

2020年11月23日 時点

**0.09 [MP7] ～ 0.27 [MP3]**

値は震災後、現在に至るまで低下傾向

### 震災から現在まで (2011年3月16日～2020年10月31日)



### 参考データ (単位はマイクロシーベルト毎時)

#### 発電所周辺町村の空間線量

富岡町 (帰還困難区域含む)	0.07 ～ 1.79	楢葉町	0.04 ～ 0.21
広野町	0.06 ～ 0.17	川内村	0.05 ～ 0.26

原子力規制委員会 放射線モニタリング情報より (2020年11月23日 時点)

#### 世界の主要都市の空間線量

ロサンゼルス (アメリカ)	0.10	ソウル (韓国)	0.12
上海 (中国)	0.59	ロッテルダム (オランダ)	0.33

出典: 福島県放射能測定マップ、在大韓民国日本国大使館ホームページより

## 燃料の保管と冷却状況

- 燃料はすべて、1～4号機の使用済燃料プールで保管しています。プール水は約30℃で安定的に冷却し、常に監視しています。

2,534体

1号機

2,482体

2号機

2,544体

3号機

2,516体

4号機

# 木戸川のやな場が再建されました

サケの遡上地で知られる檜葉町の木戸川では、昨年10月の東日本台風で被害を受けた「やな場」を再建してから初のサケ漁が始まりました。

サケ漁では、川幅いっぱいに網を広げて下流側に設置した網へサケを追い込む伝統の「合わせ網漁」や捕獲場でサケを捕獲しました。



一部新調の鉄製部材で再建されたやな場



下流側に設置した網へサケを追い込む様子



追い込み用の網と下流側の網を合わせている様子



合わせ網漁で捕獲したサケ

## みなさまの声をお聞かせください

「福島第二原子力発電所からのお知らせ」をご覧ください、ありがとうございます。  
今後の広報紙づくりのため、ご意見・ご要望など、みなさまの声を是非お聞かせください。



こちらのメールアドレスにてお待ちしております。

fuku2kouhou@tepcoco.jp (受信専用)

※いただいた内容は、広報紙づくりの参考にすることを目的としており、それ以外の目的での使用はいたしません。

## 発電所データBOX

福島第二原子力発電所で働く人は2,151人※です。(2020年10月1日現在)  
※1日あたりの入構者数は約1,000人

	東京電力HD	協力企業	合計
県内	373人	1,471人	1,844人 (86%)
県外	56人	251人	307人 (14%)
合計	429人	1,722人	2,151人 (100%)

## 編集後記

師走を迎え、布団から出にくい季節となりました。自宅のお風呂では物足りず、私は月に数回、天神岬温泉を利用しています。太平洋を眺めながら温泉につかり、日頃の疲れを癒しつつ身も心もリフレッシュできます。これから本格的な寒さを迎えます。

ぜひ皆さんも足を運んでみてはいかがでしょうか。【園】



福島復興への責任を果たすため、燃料の安定冷却を継続し、安全・安心を第一に廃止措置を進めてまいります。



福島第二原子力発電所のホームページもご覧ください。

<https://www.tepcoco.jp/nu/f2-np/index-j.html>

編集発行責任者：

東京電力ホールディングス株式会社

福島第二原子力発電所 広報部 企画広報グループマネージャー  
〒979-0695 福島県双葉郡檜葉町大字波倉字小浜作12

TEL 0240-25-1353 (受付時間 (平日) 午前9時 ~ 午後5時)

fuku2kouhou@tepcoco.jp (受信専用)